

朝倉市総合戦略（概要版）

■総合戦略策定の位置づけ

総合戦略は、人口ビジョンの展望を実現するため、ひいては本市が安定した人口構造を維持し、将来にわたって活力ある地域社会を実現するための基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すものです。

■総合戦略の期間

総合戦略の対象期間は、2015年度（平成27年度）～2019年度（平成31年度）の5年間とします。

■朝倉市の課題

- 地域で暮らすために欠かせない働く場を充実すること
- 人口の社会減を緩和すること
- 未婚化・晩婚化、晩産化などによる出生数と出生率の低下を改善すること
- 今以上に安全安心に暮らせる環境づくりを推進すること
- 朝倉市の魅力をより多くの人に知ってもらうこと

■地方創生に向けた朝倉市の基本的な考え方

このような状況や課題等を踏まえ、5つの目標を設定し、本市の未来を創生します。

■PDCAサイクルによる検証

総合戦略は、庁内組織である「朝倉市創生本部」を軸に推進し、総合戦略の効果検証にあたっては、その妥当性・客観性を担保するため、議会による議論とあわせ、住民や有識者の参画を得た「総合戦略推進会議（仮称）」を設置し、計画策定（Plan）、推進（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の各過程において、上記推進体制に基づく進行管理を行います。

基本目標

特色を活かしたしごとができる朝倉

- ◆総生産額 3,200億円（H31）
現状：3,132億4,800万円（H24）
- ◆事業所従業者数 12,000人（H31）
現状：11,650人（H26）

誰もが住みたい朝倉

- ◆社会増減数 △927人（H27～H31累計）
現状：△1,112人（H22～H26累計）

安心して結婚・出産・子育てができる朝倉

- ◆合計特殊出生率 1.50～1.60（H31）
現状：1.44（H24）

地域の個性で輝く朝倉

- ◆住みよさランキング
九州・沖縄ブロック 10位以内（H31）
現状：11位（H27）

全力で魅力を発信する朝倉

- ◆地域ブランド調査
魅力度市町村ランキング 500位（H31）
現状：787位（H26）

主な重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicator）

- 雇用の創出・地元就職
 - ・昼夜間人口比率 105以上（H31）：現状105.2（H22）
 - ・有効求人倍率 1以上（各年度）：現状0.96（H26）
- 農林業・6次産業化・ブランド化推進
 - ・新規就農者数 10人（各年度）：現状8人（H26）
- 観光振興
 - ・観光入込客数 3,500,000人（H31）：現状2,998,600人（H25）
 - ・宿泊利用客数 300,000人（H31）：現状275,200人（H25）
- 若い世代との連携
 - ・若い世代との連携事業数 1件（各年度）：現状1件（H26）
- 高齢者も働きやすい環境づくり
 - ・シルバー人材センター会員数 500人（H31）：現状469人（H26）
- 地場企業の育成・地域産業の強化
 - ・創業者創出数 5件（各年度）：現状－（H26）

- サポート体制の充実
 - ・移住・定住ポータルサイト閲覧数 10,000件（H31）：現状－（H26）
 - ・移住希望相談件数 50件（H31）：現状－（H26）
- 住環境への支援
 - ・新築住宅件数 200件（H31）：現状181件（H26）
- 若者への支援
 - ・市内高校の就職内定率 100%（H31）：現状99.1%（H26）
- 交通の利便性の向上
 - ・甘木鉄道甘木駅の年間乗客数 210,000人（H31）：現状210,280人（H26）
 - ・コミュニティバスの年間利用者数 33,400人（H31）：現状31,975人（H26）
- 買い物しやすいまちづくり
 - ・買い物環境に不便を感じる市民の割合 20%（H31）：現状25.0%（H26）

- 親・子・孫三世代暮らしの推進
 - ・三世代同居・近居世帯の割合 30%（H31）：現状28.6%（H27）
- 出会い創出・婚活支援・結婚
 - ・婚姻件数 250件（H31）：現状206件（H26）
- 出産・子育てがしやすい環境づくり
 - ・子育てサービスや体制が整っていると思う保護者の割合 75%（H31）：現状66.9%（H26）
- 子育てに目を向けた学校教育
 - ・学校生活が楽しいと思う児童の割合 90%（H31）：現状86.4%（H26）
 - ・学校生活が充実していると思う生徒の割合 90%（H31）：現状84.9%（H26）
- 地域で子育て
 - ・学校・家庭・地域が連携した教育がされていると思う市民割合 60%（H31）：現状49.3%（H26）

- 住み慣れた地域で安心して生活できる基盤の整備
 - ・朝倉市が住みやすいと思う市民の割合 60%（H31）：現状51.4%（H27）
- 地域コミュニティの活性化
 - ・地域コミュニティ活動に参加している市民割合 50%（H31）：現状38.0%（H26）
- 地域を支援する人材の育成と活用
 - ・新たな地域支援人材 3人（H31）：現状1人（H27）

- 知名度向上・PR
 - ・ふるさと納税の寄附件数 10,000件（H31）：現状11件（H26）
- マスメディアの活用
 - ・マスコミへのリリース件数（新聞、テレビ、雑誌等） 500件（H31）：現状482件（H26）
- 大都市圏・県内での情報発信
 - ・移住・定住フェアへの参加 1件（各年度）：現状0件（H26）
 - ・全国各地の県人会・朝倉会との連携 3件（各年度）：現状－（H26）

朝倉らしい取組

- ①朝倉農業高校跡地を活用した農業インキュベーターの推進
- ②フルーツなど地域資源を活かしたブランド化・特産化の推進

- ①福岡都市圏などへの通勤通学の利便性の向上
- ②CCRCの促進

- ①親・子・孫三世代の同居・近居への支援
- ②地域の子育て環境づくり

- ①集落支援員など地域を支援する人材の育成と活用
- ②空き家の利活用の推進

- ①シティプロモーションの拡充
- ②百人一首など地域資源を活かしたPRの推進